



創薬探索のための液相コンビナトリアル合成法の開発

生理活性物質合成を指向した新反応手法の開発

技術分野分類 6104: 生物生産化学・生物有機化学 6804: 創薬化学

技術キーワード F: 合成 B: 医薬分子設計

産業分類 P-83: 医療業

内 容	概 要	フルオラスケミストリーを利用した環境調和型合成反応の開発や、合成反応プロセスの簡略化に関する研究を展開している。またキラル環境下での分子間相互認識に基づく光学活性体合成なども手掛けている
	従来技術・競合技術との比較 (優位性)	<p>短期間で多量の化合物群のスクリーニングを可能にする High Throughput Screening の普及により、多種多様な化合物群の迅速合成法の確立は製薬業界などで重要な課題の一つとなっている。</p> <p>FMOC 試薬に、フッ素含量の異なるライトフルオラスタグを組み込んだフルオラスアミノ酸保護試薬 (f-FMOC 試薬) を合成し、次にこれらを用いてフッ素含量の異なる単純なジペプチド体合成を行い、異なるフルオラスタグ保護体で保持時間に顕著な差があるのを確認した。</p>
	本技術の有用性	フッ素含量の異なる f-FMOC 試薬をアミノ酸保護試薬として用いることで、多様なペプチド類のエンコード化された液相ミクスチャー合成の可能性を見出した。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>A mixture of 4 compounds Rf = H, C₃F₇, C₆F₁₃, C₈F₁₇</p> <p>steps</p> <p>Liquid Phase Split Synthesis</p> <p>64 analogue of Microsystin</p>
適用可能製品		
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	松儀 真人 (まつぎ まさと) 名城大学 農学部 応用生物化学科 教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036/052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産 特開 2010-208974 フルオラス縮合剤、フッ素成分の分離方法

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2012 年 10 月 19 日